



平成 28 年 8 月 9 日

各 位

日本マクドナルドホールディングス株式会社  
 代表取締役社長 サラ L. カサノバ  
 (コード番号：2702 JASDAQ)  
 問い合わせ先 IR統括責任者 中澤 啓二  
 TEL 03-6911-6000

## 平成 28 年 12 月期第 2 四半期連結決算状況のお知らせ

日本マクドナルドホールディングス株式会社の平成 28 年 12 月期（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）の第 2 四半期累計期間（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）の連結業績につきまして、下記の通りご報告致します。

## ハイライト

- 昨年より継続しているビジネスリカバリープランの進捗により、売上高、利益が大幅に改善
- 3 四半期連続で既存店売上高 対前年比 プラス
- 営業利益が上半期としては平成 26 年以来 2 期ぶりの黒字化
- 今後もお客様の店舗体験の更なる向上に努め、通期業績見通しの達成を目指す

(単位：百万円)

	平成 28 年第 2 四半期累計期間		
	実績	前年実績	対前年比
全店売上高*	205,014	172,025	+19.2%
連結売上高	104,893	85,281	+23.0%
連結営業利益	47	-18,291	-
連結経常利益	-151	-19,536	-
連結当期純利益*	158	-26,220	-

\*全店売上高：直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高

\*連結当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

	平成 28 年第 2 四半期累計期間	
	対前年比	
既存店売上高	+23.2%	
既存店客数	+ 8.8%	
全店客数	+ 4.2%	

平成 28 年度第 2 四半期累計期間は、全店売上高が対前年比 330 億円増加の 2,050 億円となりました。営業利益は売上高の回復や店舗収益性の改善等により 47 百万円の黒字となりました。3 四半期連続で既存店売上高が対前年比プラスになる等、ビジネスは引き続き堅調に回復基調を示しております。

昨年 4 月に策定した包括的なビジネスリカバリープランは着実な成果を挙げております。本四半期累計期間のビジネス結果は、美味しいメニューのご提供、おてごろマックやバリューセットの拡充、お客様にも参加いただける楽しいプロモーションの企画、店舗改装、人材への投資によるおもてなしサービスの向上など、お客様を第一に考えて行った様々な継続的な活動と、各月の施策の結果が相乗効果として表れてきたものと考えております。

第 3 四半期以降も引き続き、より清潔で快適な店舗環境の実現と、マクドナルドならではの美味しいメニューの提供など、お客様の店舗での快適なお食事体験がさらに向上しますよう、努めてまいります。各種戦略の実行を通じてビジネスの回復と、通期業績予想の達成を目指してまいります。

以上

※この資料は兜倶楽部、東京商工会議所記者クラブ、外食産業記者会に配布しております。